

(中国丙01)

インフルエンザ

発生推移

= 2025年8月度 =

発表: 2025年9月5日 **全国NDPCA**

作成: 2025年9月9日

日中医療衛生情報研究所

インフルエンザの分類について

- ・ここには一般的な季節性インフルエンザと
(2013年11月分以後の)H1N1型が含まれている。
- ・中国でしか感染者が出ていない
H5N6や、
H9N2の患者については、
界面サイトでのH5N6患者に関する記述から、
「その他感染症」に分類されていることが判明しました
⇒ <https://www.jiemian.com/article/5659382.html>
の最終パラグラフご参照ください。

インフルエンザの特徴

2008年からこれまでを振り返ってみると、

年間4万人(2009年)から350万人(2019年)までと振幅が大
コロナとインフルエンザの関係についての疑問:

2019年12月は1,199,771人

2020年01月は 986,543人

この2か月連續100万人という状況を、
衛生当局は検査体制の向上によると主張。

これに対し

2020年12月は 23,546人

2021年01月は 20,232人 となつた

謎が一層深まる数字が飛び出した感じ:
'19年末の急増にコロナ患者が含まれていたのでは? ...

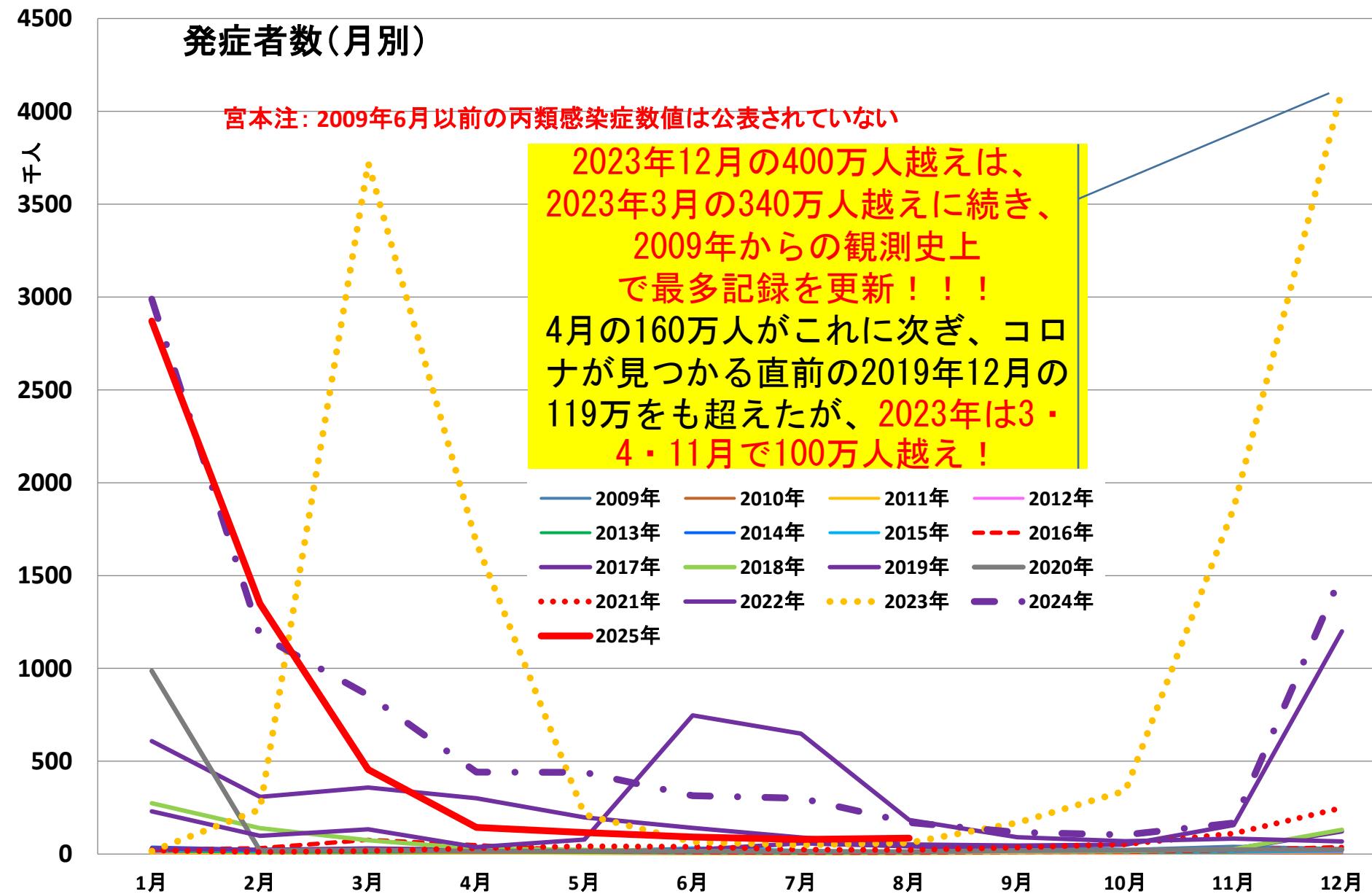
突然爆増する中国のインフル

2008年からこれまでの追跡の中では、年間4万人(2009年)から350万人(2019年)までと振幅が大きいが、コロナが見つかる直前の12月の爆増以外にも単月で突如爆発するケースが増えている：

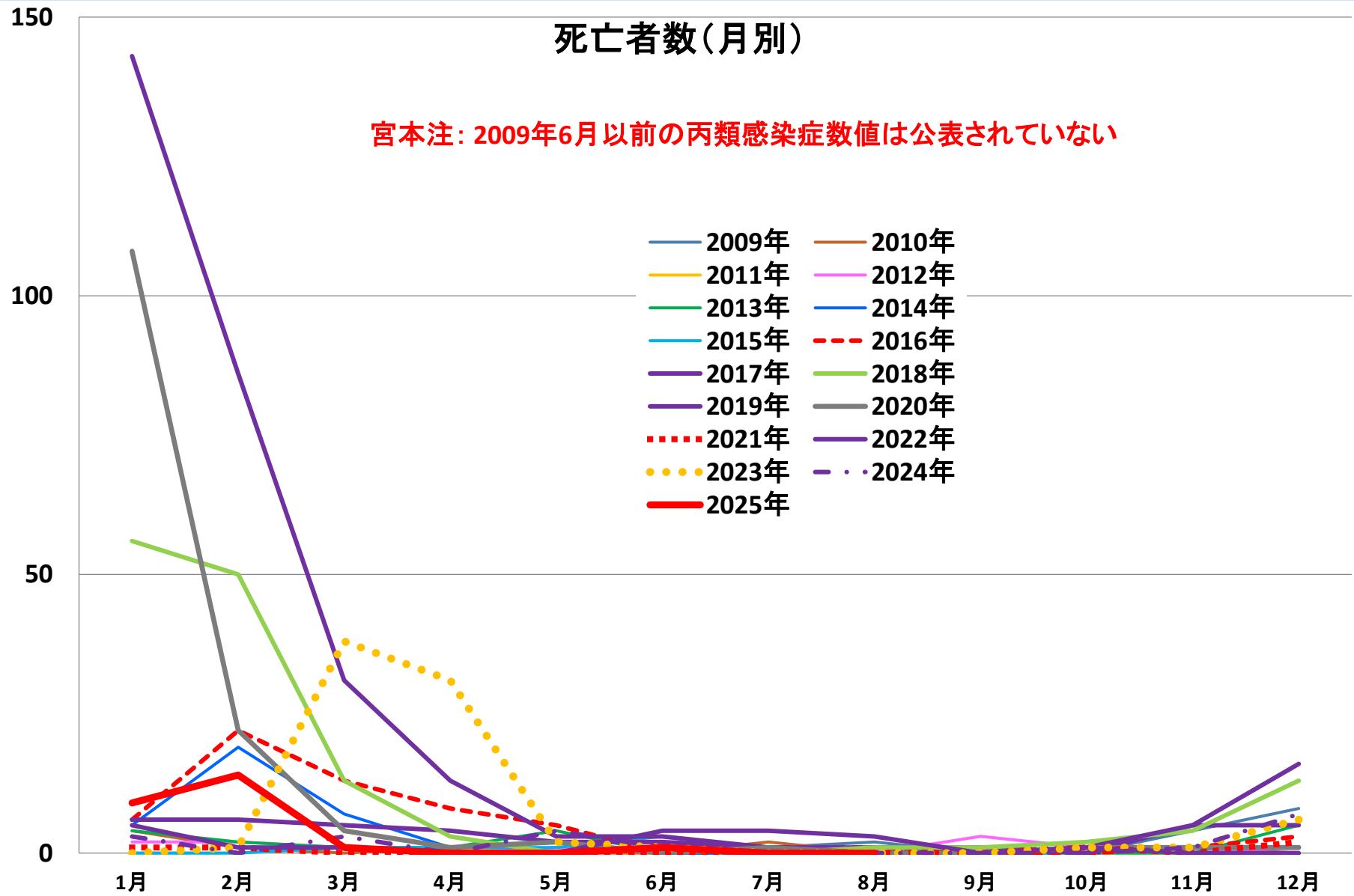
例としては、

2019年12月に1,199,771例・2020年01月に986,543例、
2022年6月に747,038例、7月に648,465例となり、
(双極性を示すことが多い南方での発症者の影響？)
2023年3月には372万例、4月168万例、11月186万例、12月411例となり、1年のうち4か月で巨大な流行に！！)
2024年も、累計では8,588,661例(速報ベース)に。

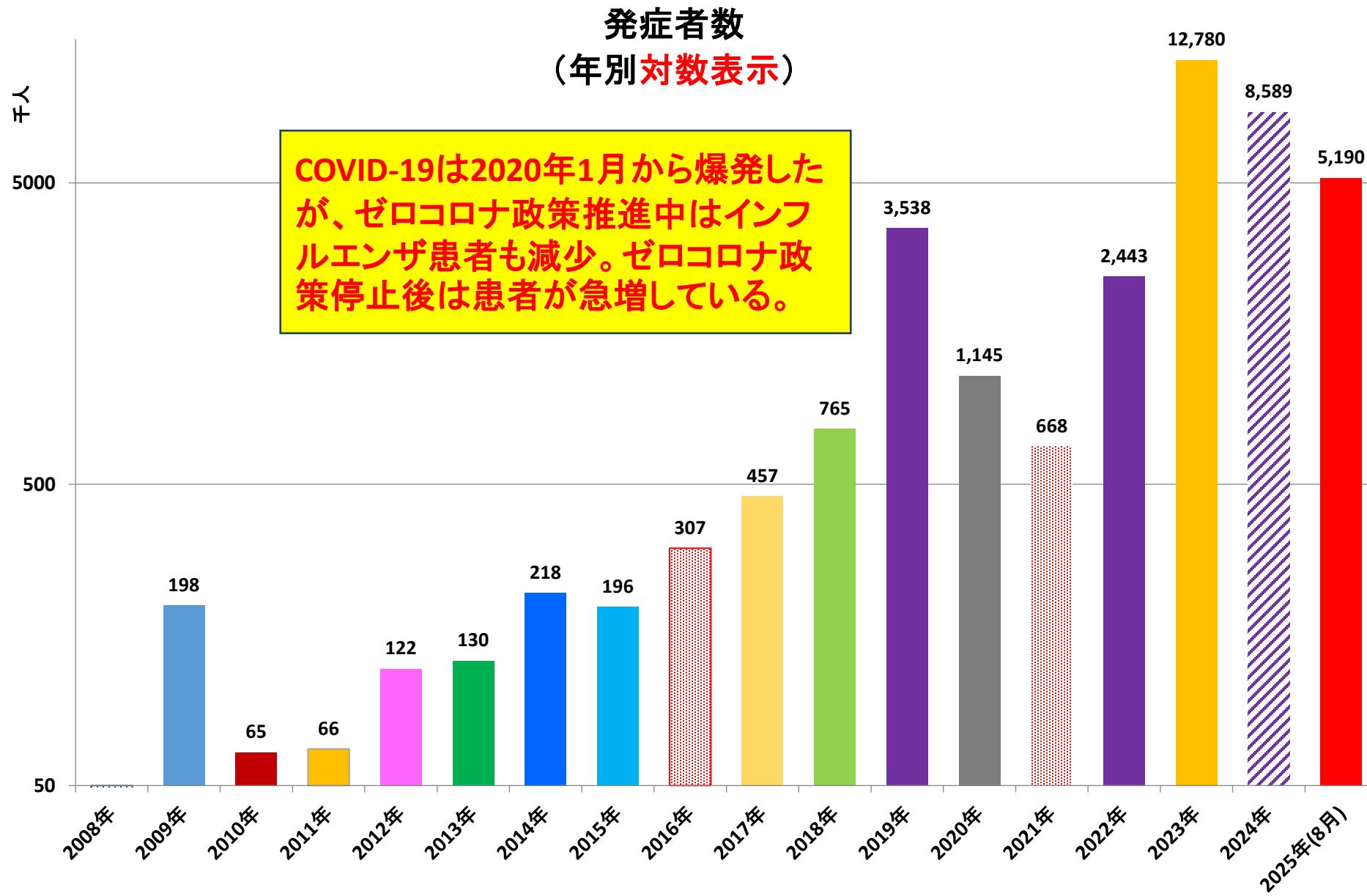
丙01：インフルエンザ発症者数



丙01：インフルエンザ死者数



丙01：インフルエンザ



丙01：インフルエンザ

